



水産科創設 50 周年を祝う そして“NEXT50”へ！

昭和 47（1972）年に創設された本校水産科は、今年度 50 周年の節目を迎え、11 月 5 日に記念式典及び感謝祭が挙行されました。

水産科は、水産振興のため那珂川流域に水産に関する専門学科を設けたいとの願いから創設されました。それ以来、全国 46 校の水産・海洋系高等学校の中で唯一の内陸における淡水魚の専門学科として、ウナギの人工孵化、チョウザメからキャビアの採卵、ホンモロコの養殖指導など、数々の輝かしい実績を収めてまいりました。これまでの卒業生は 788 名に上り、県内外の水産業界を始め各方面で活躍している有為な人材を輩出してまいりました。

式典には水産科・普通科の全校生徒が参加し、校長式辞の後、同窓会を代表して大金 武夫様よりご祝辞をいただきました。また、元校長佐藤道夫様、前校長笹沼達彦様を始め、水産科に関わった旧職員の方々にご来賓としてご列席いただきました。水産クラブ長の鈴木碧海君は、記念すべき節目の年に立ち会うことが出来た喜びと、今日まで支えてくださった方々への感謝の言葉を述べました。

式典後、水産技術研究所主任研究員坪井潤一様より『個性を未来へ SDGs』の演題の記念講演が行われました。講演後は予定時間のギリギリまで多数の質疑応答があり、有意義な講演になりました。

午後は場所を水産科実習場に移し、感謝祭が開かれました。感謝祭では、チョウザメのフリットや八溝ししまるトマト煮が入った「山・川・畑の恵みランチ BOX」が振る舞われ、鮎の塩焼き、マスの刺身に舌鼓を打ちました。

創設 50 周年のお祝いは、本来ならば卒業生をお招きして開催すべきでしたが、コロナ禍のため規模を縮小して実施いたしました。今後、記念式典の様子までを記録した記念誌を発刊する予定です。

これまで半世紀の歩みを踏まえつつ、これからも本県の水産教育を担う学科として、“NEXT50”、次の 50 年に向けて歩みを進めてまいります。



（写真左から）水産クラブ長あいさつ、講師坪井潤一様、記念講演の様子